

日本林業

発行: 一般社団法人 日本林業協会
〒 112-0004
東京都文京区後楽 1-7-12 林友ビル3階
TEL. 03-6801-8931 FAX. 03-6801-8932
編集・発行人 島田 泰助

協会からの 情報提供は

- 一般向け情報誌
『森林と林業』
毎月25日発行
- 会員向け情報誌
『協会報日本林業』
毎月5日発行
いずれも土日祝日は
繰り下げ発行となります。

.....

目次:

もりまち議連 令和7年度 第3回総会を開催	1
「キックオフ・フォーラム みんなで作る持続的な 森林と社会」が 160名を超える 参加者で盛大に開催	2 ~ 4
林活地方議連全国連絡会議の 第1回役員会を開催	5 ~ 7
国会・業界 行事日程(5月)	8 ~ 10

もりまち議連 令和7年度第3回総会を開催

SHK 制度に関する検討状況、ライフサイクルカーボン削減に向け た基本構想、「中大木造加速化プロジェクト」の結果について質疑



冒頭挨拶される金子恭之会長

去る5月27日(火)午前11時から、自民党本部において、今年度3回目のもりまち議連総会が開催された。冒頭、金子恭之の会長が挨拶された後、もりまち協議会の島田泰助会長が挨拶して議事に入った。

まず、議題の1として、「SHK制度における木材の炭素貯蔵量の取扱い」について環境省から、続いて「木造建築物の普及に向けた取組について」及び「中大木造建築普及加速化プロジェクト」の結果について国交省から説明が行われた後、質疑応答に入った。

【主な質疑応答】

出席された議員から、「木材利用が拡大し国産材比率も伸びてきているが、資源の循環利用の仕組みは機能しているのか。国産材を利用する上での課題にはどのようなものがあるのか」、「SHK制度をもっと分かりやすく、例えば具体的な事例を示すとか、類型化するとかできないか」、「LCA評価において、国産材の方が外材より有効というようなデータは示せないのか」、「万博会場を数回訪れているが、あの「リング」は素晴らしい。今日の説明を聞くと行政側の取組みが弱いような感じがする。国がもっと積極的に「木材利用とはこれだ!!」というようなモデルを作るべきではないか」、「ライフサイクルカーボン削減が最も進んでいる国はどこか」、「徳島の「もくよんプロジェクト」に期待している。民間で「もくよん」を建築した事業者を支援していくべきではないか」、「リフォーム需要も大切。木材を利用すると断熱効果も大きい。業界を支援していくべき」、「公共建築物の木造・木質化の報告に驚いている。公共建築物の法律ができた頃に比べて驚くほど進んでいる」、「日本初の木造ハイブリットビル「KITOKI」が日本橋兜町に完成した。都市建築における木の可能性を拓くことに繋がると大いに期待」などの質問・意見が出され、関係する省庁から回答が個々になされた。

最後に、宮下幹事長から、「都市建築物をはじめ、種々の木造・木質化が進んできており、この流れをさらに進めていくべき」と挨拶されて総会を終了した。



挨拶する島田会長



質疑応答の様子